

伴東小学校 第6学年国語科 シラバス

目 標

- (1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを、文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容や趣旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる

6年生ではこんな学習をします。

月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い
4	想像を豊かにして「語り」をしよう	9	●物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、「語り」をする。
5	自分の考えを明確にしながらかもう	10	●筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持つ。
6	物語が強く語りかけてきたことを考えながらかもう。	11	●物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。
	書き手のくふうを考えながら新聞の投書をかもう	17	●読み手を説得するための工夫を読み取る。
7	詩と短歌を味わおう	12	●情景や心情を思い浮かべながら、詩や短歌を声に出して読み味わう。
9	人物の生き方を考えながらかもう	17	●物語にでてくる人物の関係をおさえ、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて考える。
10	「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう	9	●資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、筆者の意見を読み取る。
11	資料を使って説明しよう	10	●資料を効果的に使って、分かりやすく説明する。
12	戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう	6	●一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。
1	ふるさとの良さを文章で伝えよう	22	●目的に応じて書く事柄を集め、形式を選んでまとめる。
2			
3	わたしたちの日本語について考えよう	11	●筆者の意見と具体例の関係に注意して二つの文章を読み、経験したことや学習したことをもとに自分の考えを書く。
3	未来に向かって	4	●文章と詩を読んで、自分の考えや思いを広げたり深めたりする。

ねらいに到達しているかどうか主に次の観点と方法で評価します。

国語への関心・意欲・態度

授業での態度や発言、活動に取り組む様子、読書、提出物やノート、プリントの記述などから評価します。

話す・聞く能力

テストや発表の内容によって評価します。

書く能力

ノートや作文の記述などから評価します。

読む能力

授業での発言、テストやノート、プリントなどの様子から評価します。

言語についての知識・理解・技能

テストや作文、ノート、書写の学習の様子から評価します。